



1 厳しい状況の中、前期後半スタート

■8月25日(水)、福岡県に緊急事態宣言が発出される厳しい状況の中、前期後半の始業式を行いました。夏休み前よりも厳しい状況のため生徒の安全・安心を最優先に、始業式は写真のように、校長室と各教室をオンラインで結んで行いました。

■小宮校長は、始業に当たり次の内容を生徒に伝えました。



■チーム太宰府の皆さん、おはようございます。

■さて、昨年の9日間の夏休みに比べれば今年の夏休みは「いつもの夏休み」と喜んだのもつかの間、8月に入り新型コロナウイルスの感染状況は悪化し、福岡県にまん延防止等重点措置、加えて9月12日までの緊急事態宣言と昨年8月以上に厳しい状況の中の今日が現実です。

■そのような中で、『史上最多・記録更新』という言葉も、真逆の2つの意味で経験したのもこの夏休みでした。1つは東京オリンピックの選手の皆さんの勇姿、2つは新型コロナウイルスの猛威。どちらも現実です。特に、新型コロナウイルスの猛威については、これまでで最悪の状況です。

■このような状況ですが、「学校は皆さんの安全・安心を確保して、学びを進めていく場所」です。

前期後半のスタートに当たり、皆さんにこれからの2ヶ月弱に期待することは

- ①「ベストな判断をして行動し、チーム太宰府を前に進ませる」。そして
- ②昨日開会した東京パラリンピックのテーマでもある「*We have Wings*」(翼がある・誰もが人生の逆風に立ち向かう)の実現を目指すということです。

■新型コロナウイルスの猛威に立ち向かい、お互いの安全を確保するために最適な内容や方法を選び、それを確実に実践することで皆の安心をつくり出すこと。そして、この後待っている文化祭や生徒会役員改選、修学旅行、高校入試等に向け、全員が確実に学び・成長していくために「*We have Wings*」(翼を持つ)ことを実現しましょう。

「*We have Wings*」(誰もが人生の逆風に立ち向かう)。

厳しい状況の中ですが、オリンピック・パラリンピックの選手の皆さんの活躍にも負けない頑張りができる、そして後期につながる前期後半を目指していきましょう。期待しています。

2 資源回収へのご協力ありがとうございました

■8月21日(土)に行われた資源回収では、ご多用中にもかかわらず、PTA地区委員の皆様をはじめ保護者の皆様には熱心にご協力いただきありがとうございました。

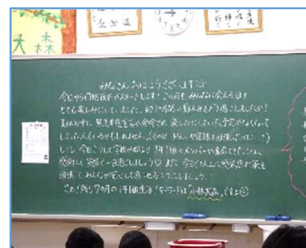
■福岡県に緊急事態宣言が発出されたため、太宰府市教育委員会の方針により急遽、生徒と教員の参加ができないう状況となつてしまい、地域ならびに保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。しかし、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげで無事実施できましたこと、心より感謝いたしております。

■これからも新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続きますが、学校教育活動およびPTA活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



③ 感染対策をしながら学校を再開しています

■8月25日(水)、前期後半がスタートし、久しぶりに学校に生徒の元気な声が響きわたりました。クラスメイトとの久しぶりの再会に思い切りはしゃぎたい所だとは思いますが、現在福岡県には緊急事態宣言が発出されており、決して予断を許さない状況です。学校が再開されるにあたり、行うべき感染対策について再度確認を行いました。子どもたちは「朝の健康チェックを入念に行うこと」「教室換気をしっかり行うこと」「トイレや廊下で密にならないこと」等を確認しました。



【生徒を迎える担任のメッセージ】



【密を避ける工夫をしたトイレ】

■また、前期後半の始業集会はオンラインに切り替え、当面の間、短縮授業を実施し部活動を中止するなど、中学校でも感染防止に向けて様々教育活動を変更しています。ご家庭におかれましても、子どもたちの帰宅後の過ごし方や、不要不急の外出を控える等のご指導をよろしくお願いします。



【タブレットを活用した授業場面】

④ 学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

■学校では、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、日頃の教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すため、生徒、保護者、教師の三者による学校評価を行っています。本年度の前期学校評価は7月に実施しました。保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

■アンケートの最後に、ご意見等をいただく項目を設けていました。学校への激励のお言葉や様々なご意見をご回答いただきありがとうございます。全ての言葉を真摯に受け止め、改善すべき点は検討し改善を図っていく所存です。

■その中で、いくつかのご意見に関して、学校からの回答を述べさせていただきます。

<p>*登下校時に持つバッグの重さが異常。軽減する工夫をして欲しい</p>	<p>近年教科書が大きくなっていること、また、中学校では副教材などもあるため小学校と比べるとかなり重たく感じられると思います。そこで中学校では教科書等の置き帰りを認め、宿題や家庭学習に必要な物のみ持ち帰れば良いことになっています。ただし、体操服等、衛生面に関わるものは毎日持ち帰る指導をしています。一度ご家庭でご確認いただければ幸いです。</p>
<p>*コロナ禍ではあるが、部活動や学校行事の見学がもっと出来るようにして欲しい。</p>	<p>本年度は、「コロナだからできない」ではなく「出来るように工夫して行く」を目標に、できるだけ例年通りの教育活動や学校行事を行うよう取り組んでいます。保護者の皆様への授業参観や学校行事の公開もできるだけ行っていきたく考えています。しかし、緊急事態宣言や福岡コロナ警報等が出た場合は、国や自治体の方針に従わざるをえません。もどかしい思いをもたれていると思いますが、ご理解の程よろしくお願いします。</p>
<p>*検温カードはそろそろ廃止して良いのではないか。健康観察の一環と言うよりカード忘れの指導になっていないか。</p>	<p>毎日の検温カードへのご協力ありがとうございます。カード提出の指導に関しては様々なご意見があることと思います。学校としては、自身の体調を知り、自己管理してもらう意味でも毎日の健康観察を習慣化してもらいたいと考えています。また、コロナの影響が心配される今、400人近い生徒と一緒に活動する学校において、朝一番に体調を確認し、皆と一緒に活動できるか確認するツールとしても実施しています。お子様の健康管理は学校だけでなくご家庭にもご協力いただかないと成り立ちません。なぜ、検温カードを毎日提出してもらっているのか、もう一度子どもたちにも理解してもらう工夫を行います。</p>

